

次世代超高速無線装置の試作開発

概要

無線通信の通信速度は30年間で約10,000倍に増えると予想されており、2020年にはミリ波帯を利用した10Gbpsの超高速無線通信が実現されると想定しています。

当社が保有する広帯域高周波回路技術、広帯域デジタル信号処理技術、モデルベース開発を適用することで、研究開発した次世代超高速無線技術の実証実験装置を短期間で開発致します。



特徴

▶ 広帯域高周波回路技術

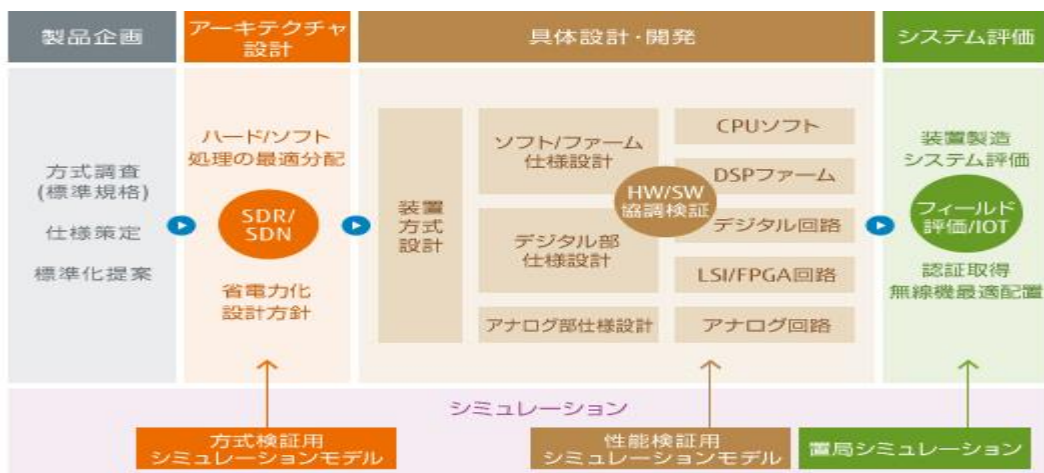
- ◆ 数百MHz幅のマイクロ波、数GHz幅のミリ波回路技術をご提供致します。
- ◆ Digital Pre-distortion、PAPR削減によりパワーアンプを高効率に利用する技術をご提供致します。

▶ 広帯域デジタル信号処理技術

- ◆ 位相雑音、IQインバランス、周波数オフセット、アレイアンテナの励振誤差等を補償するデジタル信号処理技術をご提供致します。
- ◆ マルチコアDSPや大規模FPGAの並列処理実装技術をご提供致します。

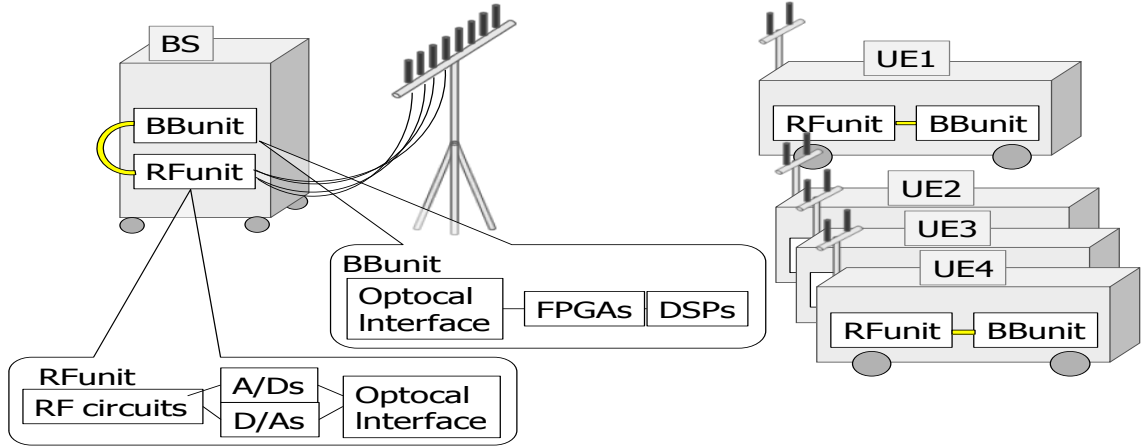
▶ モデルベース開発

- ◆ 計算機上に実証実験装置をモデル化した仮想システム（計算機シミュレータ）を構築し、アーキテクチャ設計、具体設計・開発、装置評価まで一貫した開発を行うことで短期間で品質の高い装置を開発致します。



ご利用シーン

貴社で研究開発した第5世代移動通信システムの実証実験装置を短期間で開発致します。例えば、ミリ波帯を用いたMassive-MIMOやFBMC等のNew Waveformの実証実験装置開発において、RF unitに当社高周波回路技術を適用し、BB unitに貴社のご研究成果を実装致します。



その他のご利用シーン

- 次世代WiFi装置開発
- 次世代多重無線装置開発
- 4K/8K動画伝送装置開発
- 広帯域衛星通信装置開発
- 移動体衛星通信装置開発
- ITS装置開発

サポート内容

機能設計			
L2/L3 プロトコル部	PDCP-ROHC	ソフト設計・ NWPファーム設計	
	MAC-RLC		
ベースバンド 信号処理部	誤り制御・適応変調 スケジューリング	FPGA 回路 設計	DSP ファーム 設計
	MODEM・誤り訂正・ マルチアンテナ・等化		
TRX部	デジタル変復調・DPD・ 干渉キャンセラ・AGC・DGC・CPRI	FPGA回路設計	
	変復調・周波数変換 低雑音増幅	高周波アナログ 回路設計	



LEADING WIRELESS INTERNET AGE

株式会社 モバイルテクノ

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい4-4-5 横浜アイマークプレイス8階

URL: <http://jp.fujitsu.com/mtc/>

E-mail: mtc-info@cs.jp.fujitsu.com